

山地 康介

大和ハウス工業株式会社 まちづくり統括部

卒業テーマ 箱根観光における組織間連携の実態に関する研究(押田研究室)

修論テーマ 登録観光地域づくり法人の運用における現状と課題に関する研究(押田研究室)

出身高校

日本大学高等学校

好きな「まち」
川崎市

1

私はまちづくり統括部という複合的な不動産開発を推進する部署に属しており、現在は約14haの大学病院跡地のまちづくり事業を担当しています。複合用途の大規模開発であることに加えて、期間が長期にわたる事業のため、先々に起こりえる課題点を見据えながら、日々業務に邁進しています。

大学病院という単一の用途で形成されてきたまちが、これからは複合的な機能を持つまちへと生まれ変わります。私はその変革のかじ取り役として事業に参画しており、暮らしや賑わい、交流が共存する新しいまちの姿を描いています。



打ち合わせの様子

2

日々の業務を通じて、まちづくりを推進する上で必要な法令知識や、造成計画図作成のための基礎的な作図スキル、さらには先々の課題を見通して行動するための課題発見力などが不足していると痛感しています。

まちづくりに関する周辺知識の向上に努め、事業を円滑かつ迅速に進め、滞りなく完遂できることを目標としています。かつ、こうした技術の研鑽を怠ることなく積み重ね、ゆくゆくは不動産開発のエキスパートとして業務に貢献し、胸を張って「このまちは私がつくった」と言えるような仕事を成し遂げたいと考えています。

3

私が学生時代に打ち込んでいたことは、資格勉強と開発事例見学です。いずれも志望する都市開発業界を目指す上で強みになると考えたので、始めました。

資格勉強では計画的な学習目標を立てて勉強を進め、宅建士に合格することができました。事例見学では、開発計画や建物配置などの意図を考え、気が付いたことをまとめながら巡っていました。最終的には70カ所以上の開発事例を訪れています。

これらの経験を通じて、目標に向かってひたむきに努力することの大切さを学ぶとともに、その積み重ねが自信へとつながっていくことを実感しました。

4

就職活動において重要なことは、準備と行動だと思います。まずは自身が志望する業界を見つけることから始め、その業界にアピールできる経験や強みを整理してみてください。きっと自分に不足していると感じる点が見えてくるはずです。その課題がわかれば、あとはそれらを補うための経験を積むべく行動するのみです。

就職活動は、多くの学生にとって緊張と不安の連続だと思います。そのような状況で背中を押してくれるのは、これまで積み重ねてきた経験と努力です。新卒の就職活動という一度きりの舞台で、ご自身の強みを最大限に発揮できることを、心より応援しております。



趣味のスノボ中